

生涯学習 つうしん

国見町教育委員会生涯学習課
 (観月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
 https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/kangetsudai/

リュック じかん LYKKE 時間

第30話「不便を楽しむ時間」

北欧では自然環境を積極的に保育に取り入れています。でこぼこ道や木登りの木々、落ち葉の絨毯など魅力的な自然環境ですが、不便な一面もあります。自然の中で保育を営む場合、トイレはどうなのでしょう？雨風をしのぐ場所はあるのでしょうか？そんな質問に、北欧の先生たちは笑いながら、こう答えます。「不便さも楽しむ！子どもと大人で知恵を出し合えば何とかなる！」その言葉通り、森の中を駆け回る子ども達の傍らには、“持ち運び便座”や“簡易雨やどり場”が設置されていました。不便さをも楽しむ、たくましい北欧の人々です。



保育者や保護者、子ども達で考えた“森の雨やどり場” (デンマーク)

文：柴田千賀子 (国見町出身の保育研究者。仙台大学教授)

雄大な景色を一望 町民ハイキングと夏山を楽しむ



講師の説明を聞く参加者たち

町民ハイキングが7月25日に行われ、参加者15名が山形県長井市と飯豊町にまたがる熊野山の自然を楽しみました。長井市を拠点に四季折々の自然体験活動を企画する「葉っぱ塾」代表の八木文明氏を講師に、一望できる山々や集落模様、植物などの案内を楽しみつつ大粒の汗を流しながら山頂を目指しました。展望所から望む長井ダムや祝瓶山は絶景で、山頂からは置賜盆地や吾妻連峰も眺めることができました。



展望所から望む絶景

帰路に就く前には、真夏の登山で疲れた体を温泉で癒し、立ち寄った道の駅「川のみなと長井」で散策を楽しむなど、長い夏の日を満喫しました。

福島復興からの足跡をたどる 「国見ジュニア応援団」体験学習



発電実験を行う団員たち

「国見ジュニア応援団」の第3回活動が7月25日に行われ、三春町のコミュニティセンターと福島さくら遊学舎を見学し、体験学習を行いました。コミュニティ福島ではショートムービーを鑑賞し、東日本大震災から復興までの足跡や環境の未来について学習。太陽光を使った発電実験も体験しました。福島さくら遊学舎ではアニメ作品と連動した展覧会やワークショップを見学し、アニメーションの作品や作り方について楽しみながら学習しました。



映像による学習

認知症に対する理解を深めました 夏休み青少年ボランティア講座 「認知症サポーター養成講座」



高齢者疑似体験で理解を深めました

国見町青少年育成町民会議主催の「認知症サポーター養成講座」が8月3日に行われ、小中学生9名が参加しました。活動では町の高齢化の現状や認知症の基礎知識について学習した後、ゴーグルや重りを利用して、視力・聴力低下や半身まひを体験することなどで、相手の身になったサポーターを学びました。子どもたちからは「認知症の人はこんなに大変なのか」「家に帰っておじいちゃん、おばあちゃんを助けてあげなきゃ」との発言があるなど、体験をすることで認知症についての理解をより深めた様子が見受けられました。講座の受講により、新たに9名の認知症サポーターが誕生しました。

屋内プールで泳力向上!! 短期スイミングスクール



まずは水に慣れる練習から始めます

7月26日から29日までの4日間、短期スイミングスクールが伊達市のスイミングスクールほばらで行われ、小学1年生から5年生までの児童21名が参加しました。スクールではそれぞれの泳力に合わせた4つのクラスに分かれ、水に慣れる練習や泳ぎのフォームの練習など、泳力向上に向けて各インストラクターがレベルに応じた指導を行っていました。27日は台風の影響により中止となり、3回の開催となつてしまいました。短期間にもかかわらず児童たちは確実に泳ぎを上達させていきました。



インストラクターの熱心な指導

仲間たちと「絆」を深めました 少年仲間づくり教室 「安達太良ハイキング」



仲間たちとの「絆」が深まりました

少年仲間づくり教室「安達太良ハイキング」が7月29日に行われ、小学4年生から6年生までの教室生23名が参加しました。前日までの悪天候により開催が危ぶまれましたが、当日は予定通りの行程で活動することができました。足元がぬかるみ滑りやすかったり、道が

細くロープが張られていない箇所もありました。が、教室生の頑張りにより無事に下山することができました。教室生からは「思ったより大変で疲れた」との声もありました。が、「ロープウェイが楽しかった」「本当の汗をかいた」などの感想もあり、仲間たちと活動をやり遂げ、達成感を味わったことは貴重な経験となりました。

親子で協力してミニバスケット作り 子育て応援講座 「夏休み親子エコクラフト教室」



親子で協力してミニバスケットを作りました

「夏休み親子エコクラフト教室」が7月31日に観月台文化センターにて行われ、7組の親子14名が参加しました。桑折町のgenerator佐藤千夏氏を講師に迎え、エコクラフトによるミニバスケット作りを行いました。子どもたちは真剣な顔つきで講師の説明を聞き、親子で協力しながらミニバスケット作りを楽しんでいました。完成したミニバスケットに子どもたちは目を輝かせ、「スマホ入れに使おう」「お菓子を入れるバスケットにしよう」など、使い道を親子で話しながら過ごしました。